

日米草の根交流サミット 2016 に参加して

高知大学附属中学校 1年 岡林航平

僕はジョン万次郎英語弁論大会で特別賞を受賞し、今回の日米草の根サミットに招待されました。会場のアトランタでは天候に恵まれ、1週間という短い期間を過ごしました。



到着初日の夜は早速スピーチでした。会場のフォックスシアターではたくさんの人の前でとても緊張しましたが、うまく言うことができました。

3日目からはホームステイで、アメリカの楽しい日常を経験しました。ホストファミリーと最後の日にはチリコンカーンのイベントに行きました。100種類以上試食できるように用意されたチリコンカーンは、どれも独特な味でおいしかったです。夕食はメキシコ料理店に行き、店でカラオケもしました。ホストファミリーのケンさんはとても歌が上手で、日本とは違うカントリーの歌を歌っていました。ケンさん夫婦はメキシコ料理店には毎週行くそうです。

メキシコ料理店のタコスにはチーズが上からたくさん載っていました。アメリカでは食べ物は食べられるよりも多く入れ、食べられなかったら捨てていて、日本とは全く違いビックリしました。僕は日本に帰って一番最初に寿司を食べ、大きくない食べ物を味わって食べました。

僕はホストファミリーと大変仲良くなり、ホストファミリーは来年の草の根交流サミットで奈良に来たいと言ってくださっています。僕もその時には奈良に行きたいです。

この大会を通して、僕はたくさんの人と交流することができました。家族と離れての海外1週間は初体験で、とても充実していました。このような機会をくださり、ありがとうございました。

そのおかげでステージ上に立ってからは全く緊張せず、リラックスしてスピーチすることができました。

私の中では、今までで一番良いスピーチができたと思っています。やはり人生の先輩は、いろんな知識を持っていて、私は教えてくださったその知識を忘れず、私自身もこれから沢山の人達に伝えていきたいと思いました。

初めてのホームステイは、知らなかった！そうだったんだ！ということばかりでした。私はアメリカ人じゃない？と思うほど、私にとってアメリカンの生活スタイルが日常になりました。私がホームステイした **Dublin** 地区の人達は、みんなとても親切で、最初の歓迎から最後のお別れまで、おもてなしの心が凄く大きかったです。参加者で地域分科会が同じ **Dublin** だった他のみんなも驚いていて、見習わなきゃ〜と話していました。**Dublin** は凄く自然に包まれたカントリー風の可愛い街で、また必ず再度来る！という約束をして、みんなとお別れしました。

私のホストファミリーは、父、母、大学生の娘と同年の双子の娘の5人家族でした。みんなとても優しく、私が理解できるようにゆっくり会話してくれたり、時には翻訳機を使用しながら沢山会話をしました。買い物に行った時は、私のお土産と一緒に選んでくれたり、ボーリングと一緒に行って楽しんだり。。。他にも色々連れて行ってくださり、沢山の初体験をしました。

なかでも、同年の双子の娘とはとても仲良くなり、帰国後も近況のメールのやり取りが続いています。いつかまた再会しようね！とお互いに言い合うほど仲良くなりました。ホストファミリーと過ごした経験は、とても楽しく充実した日々、**Dublin** 地区のおもてなし精神に感動し、最後のお別れでは大泣きしてしまいました。

帰国後、私自身変わったと思うことは、今まで以上に何事にも前向きで真剣に取り組むようになり、表現力も豊かになりました。今回初めての海外を経験し、今まで抱えていた悩みは、なんて小さいんだろう〜と思えるほど心が広く豊かになりました。アメリカ滞在中に経験した数多くの初体験が、きっと今の前向きな私を作り上げたんじゃないかと思っています。

そしてこれからの進路について、もっともっと視野が広がりました。同じ **Dublin** 地区にホームステイした参加者の方で、現在息子さんがテネシー工科大学に留学している人がいました。息子さんにも少しお会いでき、「もし留学を考えているなら、連絡くれたらいつでもわからないことを教えますよ！」と言っただき、進学を国内で考えていた私は、海外でも進学してみたいと思いました。

今回のアトランタサミットに参加できたことは、私にとって大きな分岐点になりました。アメリカで出会った現地の方達だけでなく、日本からの参加者達(みな年代は違います)、沢山の良い出会いがあり、自分自身を一回も二回りも成長させてくれました。ホストファミリーやアメリカで出会った人達と再会し、もっと沢山会話できるようになりたいという目標ができたので、これからももっともっと英語を勉強します！そしてジョン万次郎英語スピーチ大会にもっと多くの夢を持つ参加者が増え、大きな広い心と目を持った人達が沢山増えてほしいと思いました。

アトランタサミットに参加して

高知県立高知工業高等学校

1年 田中 万結

まず、私がこのサミットツアーに参加し、海外という場所をこの目で見て素晴らしい体験ができたのは、土佐ジョン万次郎の会の皆さまと周りの人々の支えがあったからこそです。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

このツアーの約八日間は、私の人生の中で最も濃い時間を過ごし、初めて知ることだらけでした。何気なく過ごしていた日と違い、一日に新しく入ってくる知識の量が沢山ありました。

一日目から私は早くも、国外に出るということや長時間の飛行機に乗るということ、そして何より英語で会話をするということが、初体験ばかりでした。その初体験は、「私はもう外国にいるんだ〜!」という強い実感がありました。私は、ジョン万次郎英語弁論大会で特別賞を受賞後、全く実感が湧かず、本当に行けるのかと思っていたくらいだったので、海外に来たんだ!!という実感がやっと自分の中で湧いた時は、嬉しい気持ちと少しの緊張、そして母とスピーチ練習をしてくださった濱田先生への感謝でいっぱいになりました。



最初の方は自分の英語が想像以上に話せていて、「これなら何とか会話ができる!」そう思っていました。しかし、時間が経つにつれて、やはり自分の英会話力のなさを実感し、何とか会話の内容だけでも理解しようと必死でした。

『後悔しないような時間を過ごし、思いっきり楽しんできなさい』

これは母との約束でした。だから絶対に後悔しないように、いくら英語がわからなくても、何とか伝えようという努力をし、話の内容を少しでも理解できるようになろうと自己目標を立て、会話をするようにしました。すると最初は全然ダメダメだったのが、最後の方には話の内容を理解できるようになりました。

面白かったのは、ツアー中のホテルの部屋でお金を整理していたときに、お金の数え方が自分でも知らないうちに英語で数えていたことです。そして帰ってきてからも、ニュースで出た海外の芸能人のインタビューが声だけでも、大体的内容を聞き取ることができ、自分でも驚きました。英語だらけの日々を過ごしたことがなかった分、私の英語の変化が毎日変わり、面白かったです。

このツアーで沢山のひとと出会い、人脈がかなり広がりました。いろんな人達と話をすることで、また新たな発見やこれからの人生に役立つヒントを教えてくださいました。オープニング式典でスピーチの際、スピーチ前はかなり緊張し、どうしようかと思っていました。同じ日本人参加者の方から、「発音も大事だけど、一番は思いを伝えようとするんだよ!」、と声をかけてくださり、